

九州大学工学部所蔵鉱山・製錬関係史料

中西, 哲也
九州大学総合研究博物館

井澤, 英二
九州大学 : 名誉教授

宮崎, 克則
九州大学総合研究博物館

<https://doi.org/10.15017/1546792>

出版情報 : 九州大学工学部所蔵鉱山・製錬関係史料, 2005-03. 宮崎克則
バージョン :
権利関係 :

はじめに

九州大学名誉教授 井澤英二

鋳業が江戸時代を特徴付ける産業であったことは、一般に知られていないと思います。もともと鋳山は、人里はなれた山中にあり、しかも地面の下の作業も多く、見えない存在です。現代のわたしたちにとって、江戸時代の鋳山の職人のワザをたどることは可能でしょうか。

幸いなことに、先人の努力によって九州大学には江戸時代の鋳業技術文書や絵図が数多く残されています。しかし、史料の大部分は、一般の人の眼に触れることなく、それどころか、専門家でさえ見る機会がないままに半世紀以上眠った状態にありました。

現在、「江戸のモノづくり」研究の一環として、鋳業技術についても古文書や道具の全国調査が進められています。そのなかで、九州大学工学部所蔵の文書と絵図の目録が作られ、史料の一部がインターネットで公開されました。さらに今回、印刷物による公開が加わります。

全体を把握出来る紙資料の長所と細部を見ることを可能にするインターネットの画像が補いあって、広く一般に江戸時代の鋳山と金属生産の技術が紹介出来ると考えます。この図録によって、江戸時代の暮らしの雰囲気までも感じていただければ幸いです。

